

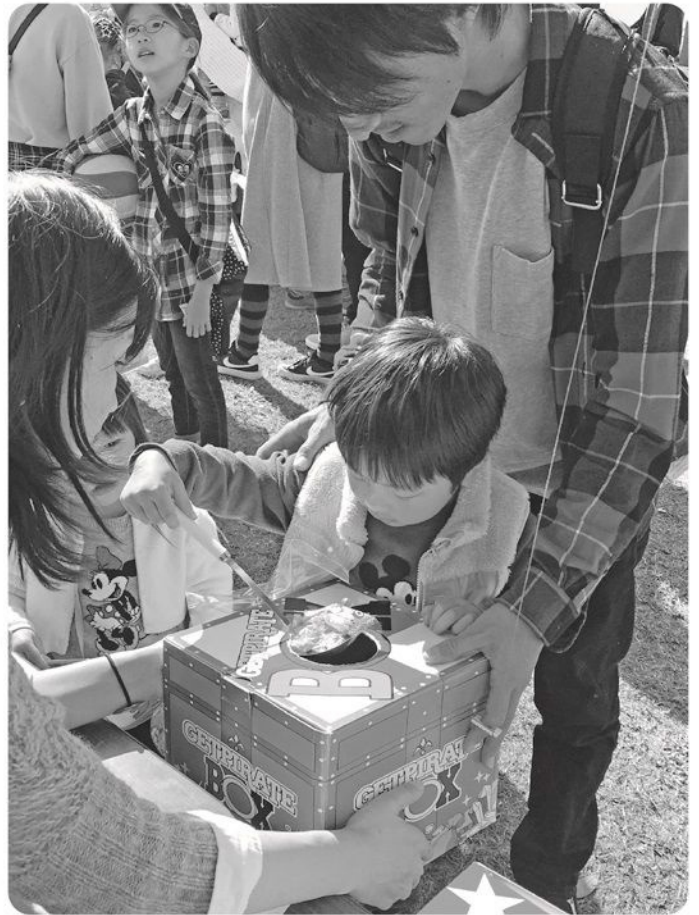


旭市

第56号
2020年1月15日

編集発行
社会福祉法人
旭市社会福祉協議会
旭市横根3520番地
TEL.0479 (57) 5577
FAX.0479 (57) 2836
URL www.asahi-shakyo.jp
e-mail:asahi-shakyo@
cpost.plala.or.jp

社協だより



赤い羽根共同募金

ご協力に感謝します!! 11月10日(日)

海上コミュニティー運動公園で行われた「産業まつり」に参加しました。赤い羽根共同募金の募金活動とお菓子のすくい取りや、風船などの啓発物資を配布しました。

当日は、お天気も良く大勢の方々が足を運んでくださいました。お菓子のすくい取りは、小さなお子さんから、お年寄りまで、誰でも参加ができるので、今年も大盛況でした。

おかげさまで、赤い羽根共同募金も大勢の方にご協力をいただき、44,787円の募金が集まりました。

皆さまのご協力に感謝いたします。



新年のご挨拶



社会福祉法人
旭市社会福祉協議会

会長 宮原 壯六

新たな年を迎え、市民の皆様には
謹んで新年のご挨拶申し上げます。

また、旧年中は心温まるご寄付や社会福祉協議会の会費へのご協力など、本会の運営に多大なるご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。

私も前会長から会長職を引き継ぎ、早いもので半年が経過しました。まだまだ手探り状態で、力不足を痛感しておりますが、市民の皆様の期待に応えられるよう本年も邁進してまいりたいと思います。

さて、昨年は例年にない災害の年となり、この千葉県でも過去に経験したことが無いような台風に見舞われ、多くの

方々が被災いたしました。被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

そして、今後も起こり得る災害に対し、社会福祉協議会の果たす役割は大きいものだと考えております。過去の災害ボランティアセンター立ち上げの教訓を生かし、災害に負けない地域づくりを市民の皆様と共に構築できるよう努力してまいります。

本会も「みんなで思いやり 支え合える 地域の福祉力」を基本理念にかかげ、地域づくりの軸として「困ったときはとりあえず社協」、地域の皆さまにそう思っただけのような温かい場所でありたいと考えておりますので、今後ともより一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに本年が災害のない穏やかな一年であり、皆様にとりまして幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



秋は
イベントが
満載!



旭市合同金婚式開催

10月29日(火)

結婚50周年おめでとうございます!

昭和44年9月1日から昭和45年8月31日までに婚姻されたご夫婦を対象に、金婚式を開催しました。今年度は46組のご夫婦が式典に出席されました。

祝宴では舞踊やお囃子が披露され、お囃子にあわせて神輿や獅子舞が登場するなど、会場は大いに盛り上がりました。

人生の先輩方の嬉しそうな笑顔はとても印象的でした。これからもご夫婦仲良く、お元気にお過ごしください。



おたっしゃ会

11月1日(金)

市内にお住いの一人暮らし高齢者(70歳以上)を対象に「おたっしゃ会」を開催しました。お天気にも恵まれ、総勢139名と大賑わいでの「おたっしゃ会」となりました。

ゆたか保育所の園児によるお遊戯や、吉美会の皆さまによる舞踊などが披露され、みなさん笑顔で鑑賞されていました。



ゆたか保育所の
園児の皆さん!
上手に踊って
みんな一安心♡



園児たちから
手作りメダルを頂きました!



最後はみんなで
大漁節を踊りおひらきとなりました。



第15回

社会福祉大会 11月23日(土)

今年も東総文化会館にて社会福祉大会を開催しました。

式典では地域福祉に貢献された個人、団体に対しての顕彰や、市内小中学生の福祉作文入賞者の表彰を行いました。また、最優秀作文の発表では、皆さん真剣に発表者の声に耳を傾けていました。

記念講演は、林家こん平さんの次女である、笠井咲さんにお越しいただき、ご自身の介護体験についてご講演を頂きました。また、父親であるこん平さんと作り上げた「チャラーン体操」を披露していただき、会場の皆さんも一緒に手足を動かす体操を行い、会場に笑顔と元気を届けて頂きました。

今回受賞された方々をご紹介します。

市長感謝状

(敬称略)

No.	氏名	代表者
1	藤井 光夫	
2	NEXUS(株)D'ステーション旭店	星野 敏
3	マミー商会	宮内 正己



市長感謝状を受け取る
NEXUS(株)D'ステーション旭さま



市長感謝状を受け取る藤井さま



会場の皆さんと一緒に
チャラーン体操を踊りました!



講演を行う笠井咲さん



篤志寄附功労を受賞された
あさひ舞踊会さま



市長感謝状を受け取るマミー商会さま



役員功労を受賞された渡邊さま



介護功労を受賞された
藤原さま



篤志寄附功労感謝状を受け取る
歌謡旭クラブさま



受賞者の方々です



ボランティア功労を受賞された
新行内さま



受賞者の方々です

会長表彰

役員功勞

No.	氏名	No.	氏名
1	渡邊政英	7	加瀬喜美子
2	成川武勇	8	柴田榮子
3	曾根勝也	9	齋藤光代
4	宮内孝一	10	伊藤芙美子
5	平野嘉一	11	川上幸枝
6	守部幸一	12	角崎勝美

ボランティア功勞

No.	氏名
1	新行内よし
2	古作法子
3	角崎武男

篤志寄付功勞

No.	氏名	代表者
1	あさひ舞踊会	花園千名美
2	薄田 豊	
3	旭市文化協会美術部	加瀬小夜子
4	(株)ステップ	今関慎治

会長感謝状

篤志寄付功勞

No.	氏名	代表者
1	歌謡旭クラブ	山中昭清
2	千本松喜市	
3	平野尚子	
4	日華化学株式会社	江守康昌
5	合同歌謡会	在田栄治
6	銚子商工信用組合信友会	筒井清徳
7	認定NPO法人 日本車椅子レクダンス協会 千葉東総支部	加瀬佑子
8	旭市文化協会芸能部	平野和二郎
9	日蓮宗千葉県東部宗務所	富永観瑞
10	琴伝流大正琴すばる会	堀川咲子
11	飯岡舞踊会	佐久間智恵乃

介護功勞

No.	氏名
1	藤原敏子

福祉作文を紹介します



小学生の部 《最優秀》

大好きなへんこばあちゃん

作文の発表をする諸持来望さん

旭市立琴田小学校 第6学年
ももち くるみ
諸持来望さん

母の実家には、とても長生きでかわいいおばあちゃん、へんこばあちゃんがあります。あと半年で百三歳になります。大正・昭和・平成・令和と生きてきました。

へんこばあちゃんは、百歳を超えているのに、自分でご飯を食べたり、お風呂に入ったりします。へんこばあちゃんの百歳のお祝いパーティーのときは、子・孫・ひ孫が集まり、みんなでお祝いをしました。みんな、へんこばあちゃんのが大好きです。

社会福祉作文入賞者

小学生の部

No.	表彰区分	氏名	学校名
1	最優秀	諸持来望	旭市立琴田小学校 6年
2	優秀	谷中友芽名	旭市立矢指小学校 5年
3	〃	齊藤漣凰	旭市立共和小学校 5年
4	〃	井手本麻央	旭市立嚶鳴小学校 5年
5	〃	高野愛喜	旭市立飯岡小学校 6年
6	〃	向後百栳	旭市立飯岡小学校 6年
7	〃	菅谷彩羽	旭市立萬歳小学校 6年
8	佳作	三上斗羽	旭市立富浦小学校 5年
9	〃	阿曾成夢	旭市立富浦小学校 6年
10	〃	伊藤日葵	旭市立豊畑小学校 6年
11	〃	吉畑湖々	旭市立干潟小学校 6年
12	〃	小川陽葵	旭市立共和小学校 5年
13	〃	浪川大愛	旭市立嚶鳴小学校 6年
14	〃	柴田采佳	旭市立萬歳小学校 5年

中学生の部

No.	表彰区分	氏名	学校名
1	最優秀	浪川日向子	旭市立海上中学校 2年
2	優秀	内山 詩	旭市立第一中学校 2年
3	〃	井上夢菜	旭市立第二中学校 1年
4	〃	加瀬優樹	旭市立海上中学校 2年
5	〃	林 姫詩	旭市立飯岡中学校 2年
6	佳作	岩田 壘	旭市立第二中学校 2年
7	〃	渡辺優良	旭市立第二中学校 2年
8	〃	嶋田姫星	旭市立飯岡中学校 2年
9	〃	平野将久	旭市立飯岡中学校 2年



受賞された小学生の皆さんです

きっと、へんこばあちゃんが、みんなのことをかわいがってきてくれたからだと思います。へんこばあちゃんは、お酒を飲みながら、「まだまだ生きてギネスに載る。」と冗談を言って笑っていました。

でも、そんなへんこばあちゃんが、認知症になりつつあります。寝ている時間が多くなり、何度も同じことを言ったり、聞いてきたりします。テレビも大きな音でしか聞こえなくなりました。私は、何度も同じことを聞かれて、「さっき言ったのに。」や、テレ

ビの音にイライラして、「うるさくて耳がこわれちゃうよ。」と言ってしまいました。

そんな私に母は、「へんこばあちゃんみたいな人は珍しいんだよ。百歳過ぎているのに介護を必要とするわけでもなく、自分のことを自分でやっているし、年を取ったら赤ちゃんみたいにオムツをはいたり、ご飯を食べさせてもらったりする人の方が多いんだから、へんこばあちゃんは、すごいんだよ。」と教えてくれました。今まで、へんこばあちゃんが、すごく元気だったので、お年寄りの介護のことは、想像もつきませんでした。

私達が赤ちゃんだったときには、お昼寝はへんこばあちゃんと一緒だったそうで、他にも、おむつの交換をしてくれたり、ご飯を食べさせてくれたりしたそうです。私のアルバムには、へんこばあちゃんとの思い出の写真がたくさんあります。

へんこばあちゃんは、大勢の孫やひ孫の面倒を見ているから、子育てのプロです。私の面倒もたくさんみてくれました。

そんな優しいへんこばあちゃんに嫌なことを言ってしまったと後悔しました。

ある日、へんこばあちゃんとお風呂に入りました。今まで面倒を見てもらっていたので、感謝の気持ちを込めて体と髪の毛を洗ってあげました。髪はまっ白、体もしわしわです。初めて、人の髪を洗いました。へんこばあちゃんの顔が泡だらけになってしまいました。でも、へんこばあちゃんは、「ありがとう。気持ちよかったよ。私は幸せ者だな。」と笑顔で言ってくれました。私は、なんだかとてもうれしくなりました。

今の私には、小さなことしかできません。でも、その小さなことでも喜んでくれる人がいることに気がつきました。人は誰でも年をとります。もし、へんこばあちゃんが赤ちゃんに戻ってしまったなら、私だって赤ちゃんの時に面倒をみてもらったのだから、精一杯の感謝の気持ちを込めて、面倒を見てあげたいです。

へんこばあちゃん、もっともっと長生きして、ギネスに載ってね。

中学生の部 《最優秀》

みんなが笑顔で暮らせるように

旭市立海上中学校 第2学年
なみかわ ひなこ
浪川日向子 さん

「おじいちゃんがない…」六月二十一日の朝、私の曾祖父が突然いなくなった。私がいつも通り二階にある自分の部屋で学校へ行く準備をしていると、台所の方からいつもと違った騒がしい声が聞こえてきた。そして車が出ていく音もした。なんだろうと気になり、一階に降りると、母から曾祖父がいなくなったことを聞いた。

私の曾祖父は認知症を患っている。約二年前、六十年以上連れ添ってきた曾祖母が死んでから認知症の症状がひどくなってきた。曾祖父は以前、コンクリートを作る会社に勤めていた。その仕事を辞めてからは、曾祖母と一緒に、家の掃除やゴミ出し、家庭菜園で野菜を作ったり、孫やひ孫の送迎などをして家を守ってきてくれたと母がよく言っていた。

それが最近では、夜中に、「悪者が襲ってきた」「戦いがはじまる」「たくさんのおもちゃが布団に座っている」などと言って、夜中でも外に出ていこうとする。家族のこともよくわからなくなる時があり、私のことを男の子だと勘違いしていることもある。食べこぼすことも多く、曾祖父のテーブルの下は、食べかすばかりだったり、トイレも汚れていることが多く、私は曾祖父の入った後のトイレにはあまり入らないようにしていた。

しかし、私の父は、毎朝のように曾祖父のトイレの後に入り、汚れを掃除してくれているそうだ。それを母から聞いて、私も父を見習って、汚れているところは、掃除して使えばいいんだと考えようになった。曾祖父が家中を掃除してきれいにしてくれたように、今度は私たちの番だと思ふようになった。

曾祖父がいなくなった朝、祖父母が車で近所を探しに行く

とパトカーとすれ違い、すれ違いざまにパトカーの後部座席に曾祖父らしい人が見えて、急いでパトカーに合図を送り、近くのコンビニエンスストアで引き渡してもらったそうだ。帰ってきた曾祖父の手には五百ミリリットルの水のペットボトルが握りしめられていたそうだ。

その日の夕方、家に帰るといつもより静かな曾祖父が台所の自分の椅子に座っていた。

祖母に事情を聞いてみると、今朝の話を教えてくれた。曾祖父は明け方、悪者がきたと思って、玄関が二重ロックされていて出られなかったので、自分の靴を持って勝手口へ行き、外へ出たようだ。しばらく歩くと疲れてしまい、道端にしゃがんでいたところ、通りかかった朝の散歩をしている年配の夫婦に声をかけてもらった。さらに「のどが渴いた…」と言う曾祖父にコンビニエンスストアで水を購入して、ごちそうしてくれたそうだ。その後、近くの交番へ連絡をしてくださったらしい。そして、交番から警察署に移動するとき、ちょうど探し回っていた祖父がパトカーを発見して、引き渡してもらったということだ。

祖母がその助けてくれたご夫婦にお礼の電話をすると、「お互いさまだから。私の家にも認知症の親がいたから、座っている様子から、きっと徘徊している老人だろうと感じたの。」と、とてもやさしい口調で返答してくれたそうだ。この会話が聞こえているのか、聞こえていないのか分からないが、自分がやってしまったことを反省しているような様子で曾祖父はじっと椅子に座っていた。

テレビから、障害者福祉施設での殺傷事件から三年が

経ったというアナウンサーの声が聞こえてきた。その施設の患者さんを何人も殺傷してしまったひどい事件だ。犯人は、「障害者なんていなくなればいい」と言っていたそうだ。

このニュースを聞いて、障害者について考えた。私の曾祖父もきっと障害者になると思う。自分だけでは生活がうまくできない。だれかの助けがあって生きていくことができる。でも、その曾祖父も昔は私や家族を助けてきてくれた。今度は私がそんな曾祖父を助ける番だと思う。

高齢化が進み、認知症などで困っている方やその家族が増えていくことは避けられない。障害者や高齢者、またそういった方を支える家族、そして介護して下さる施設の方などみんなが安心して暮らしたり、働ける社会が必要だと思う。

安心して生活ができる社会にはたくさんの費用がかかると思う。でも環境は人間が作る。私の曾祖父を助けてくれたご夫婦のように「お互いさま」や「助け合い」の気持ちでみんなが毎日を過ごすことでたくさんの笑顔があふれる社会を作り

出すと思う。

私にできることは、困っている人に迷わず手を差し伸べ、自分ができる精いっぱいのことをする事だと思う。障害者も健常者も幸せに暮らせる社会になることを私たちが常に考え、形にしていけるようにしたい。



受賞された中学生の皆さんです

「災害ボランティアセンター」 運営支援報告

台風被害のあった千葉県内被災各地の社会福祉協議会で災害ボランティアアセスターが開設され、旭市社会福祉協議会職員も南房総市、多古町、鋸南町、長柄町の社会福祉協議会で運営支援を行いました。

被災者から依頼内容や必要な道具、人数を聞き取る役割、ボランティアが活動する前に危険がないか現地調査をする役割、活動するボランティアの受付や保険加入の役割、被災地の状況や注意事項を説明する役割、ボランティアへ依頼内容を割り振る役割、必要な道具を貸し出す役割等、ボランティアが安全に円滑に活動できるように災害ボランティアアセスタースタッフとして、裏方の作業を行いました。

旭市でも東日本大震災で地震・津波・液状化被害を経験しましたが、今回の台風のようには地域に関係なく、近い時期に何度も被害にあうこともあり得ることを感じ、毎年実施している訓練をより一層充実させる必要があると痛感しました。被災された皆様には一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。



福祉教育 推進事業

お年寄りの気持ちになって、接し方や援助の仕方を学びました!

11月25日(月)に三川小学校5年生のクラスで、高齢者疑似体験セットを装着し、高齢者が日常で生活を送るうえで、どんなことが大変なのかを身をもって感じ、自分たちにできること、どんな手助けをしたらよいかなどを学び考える授業を行いました。

疑似体験セットを装着すると、普段自由に動きまわられる身体が、経験したことのない身体の重さとなり、歩くのもままならない状態に陥るため子供たちも驚いていました。

今回の体験で、聞いた情報だけでは判らない身体の不自由さを、身をもって経験することが出来たようです。



上手く装着できるかな!



身体が上手く動かないよお



階段にも挑戦、気をつけて!

視覚に障害のある方へ活字を音声で伝えるための 「朗読(音訳)ボランティア基礎講座」参加者募集!!

視覚に障害のある方々に活字で書かれている書籍や雑誌広報紙などの内容を「音訳して伝える」ボランティア基礎講座です。音訳活動中の方や音訳活動を始める方、ご興味のある方は是非ご参加ください。同時に、当会での「音訳ボランティア」にご協力いただける方も募集しております。

日時／令和2年2月15日(土) 午前10時00分～午後2時45分
(受付は9時45分からです。)

場所／飯岡福祉センター

対象者／市内に在住、在勤、在学の方で、音訳活動に関わっている方、音訳ボランティアとして活動する意欲のある方

内容／活字を音訳で伝えるための基礎講座

参加料／無料

定員／20名(先着順)

持ち物／筆記用具・飲み物・昼食(希望者は弁当注文可能)

申し込み・問い合わせ／旭市社会福祉協議会 ☎57-3133

電話、来所での受付時間

午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く)

音訳ボランティアって...?

視覚に障害のある方のために活字で書かれている書籍や雑誌広報紙、新聞などの内容を「音声にして伝える」ボランティアです。視覚に障害のある方の「目の代わり」となって情報を声で伝えるお手伝いです。



認知症家族交流会 開催のお知らせ

認知症の方を介護している同じ立場の方々が集い、介護をしている中で抱く思いを語り合い、情報を交換する場として、認知症家族交流会を開催します。是非、お気軽にご参加ください!

日時／令和2年1月22日(水)
午後1時30分～午後3時

会場／旭市社会福祉協議会「機能回復室」
(飯岡福祉センター内)

対象／● 認知症の方を介護している方または
認知症の方の介護を経験された方
● 認知症について理解を深めたい方 など

内容／● 介護経験者からのお話
● 懇談交流会

参加料／無料

申し込み／お電話にて前日までに下記へ
お申し込みください。

問い合わせ・申し込み先 ☎0479-74-3433
(旭市東部地域包括支援センター)



綺麗なお花が咲いています

「小さな親切」運動旭市支部では美花活動を推進しています。春にはシンボルフラワーの秋桜の種子を各小学校に配布したほか、秋には市内にお住いの石毛光男さんから、綺麗なビオラやパンジー、スノーポールの花を寄贈していただきましたので、ボランティアグループ「やよい会」の皆様にご協力を頂き、飯岡保健福祉センターの花壇にお花を植えました。

寒さにも負けず可憐に咲く花は、見る人の気持ちをほっこりさせてくれています。



お知らせ

社会福祉協議会の職員を募集します！

私たちと一緒に働いてみませんか？

職 種	募集人数	応募資格	応募期限	身 分	採用予定日
1 介護支援専門員 ※月1回土曜日勤務あり	2名	介護支援専門員 実務研修の修了者 (県へ登録されている方)	随 時	正規職員	随 時
2 事 務 職	1名	社会福祉士 社会福祉主事は優遇	令和2年 2月14日	臨時職員	令和2年 4月1日
3 運 転 手 (外出支援事業)	1名	普通運転免許 二種免許あれば優遇	随 時	臨時職員	随 時
4 運 転 手 (デイサービス事業)	1名	普通運転免許	随 時	臨時職員	随 時

【応募要件】

介護支援専門員資格、普通運転免許取得者
・パソコン操作可(1・2共通)
※運転手は短時間勤務になります。

【申込み先】

〒289-2712 旭市横根3520番地(飯岡福祉センター内)
社会福祉法人 旭市社会福祉協議会 ☎57-5577
※待遇等詳しくはお問い合わせください。

【提出書類】履歴書(写真添付)・資格証の写し

注) 外出支援事業とは、一般の交通機関およびタクシー等の利用が困難な65歳以上の高齢者や、身体障害者で下肢の不自由な40歳以上の方が、医療機関への受診等、送迎に利用できます。※リフトカーの運転です。

笑って学べる！

はじめての成年後見講座

県民や福祉関係者を対象に、お笑い芸人のトークや弁護士による解説を通して、分かりやすく成年後見制度の概要や職務を伝え、制度の利用促進や周知を図ります。

- ◆日 時/令和2年2月9日(日) 13時~16時
- ◆会 場/千葉市生涯学習センター 2階ホール
- ◆定 員/300名(申込先着順)
- ◆申 込/FAX 又はE-mail で申し込む
- ◆締め切り/令和2年2月3日(月) 必着
- ◆参加費/無料
- ◆申込・問い合わせ先/
〒260-8508 千葉市中央区千葉港4-3千葉県後見支援センター
TEL:043(204)6012 FAX:043(204)6013
E-mail:smile@chibakenshakyo.com

*皆さまの温かいご寄付
ありがとうございます*

10月から12月中旬までに、次の方々から社会福祉協議会へ寄付をいただきました。心温まる浄財は有効に使わせていただきます。ありがとうございました。(敬省略・順不同)

- マミー商会 ● 秀花歌謡教室 ● 飯岡舞踊会
- (株)ステップ ● 生演奏で踊ろう会 ● 薄田豊
- 日華化学(株)関東工場 ● 海上歌謡虹の会
- アメリカンフラワー ● 歌謡旭クラブ
- あさひ舞踊会

社会福祉協議会のイベントや最新情報はホームページで確認できます。是非ご利用ください！

心配ごと相談所のご案内

社会福祉協議会では心配ごと相談所を開催しています。市内に住む有識者の相談員が、皆さまの問題解決に向け、関係機関への斡旋や助言を行います。心配ごとや悩みごとがあると毎日が憂鬱ですよね。誰かに話を聞いてもらうだけでも、少しでも気持ちが楽になれるかもしれません。相談料は無料で秘密は守られますので安心してください。

なお、お待たせすることがないよう、お電話での予約をお願いします。☎57-3133(直通)

旭市社会福祉協議会地域生活支援室



場 所	期 日	時 間
飯 岡 福 祉 セ ン タ ー	第 1・3 水 曜 日	午後1時30分~午後3時30分
旭 市 青 年 の 家 2 階	第 2・4 水 曜 日	午前10時~午後3時

※月に4回、水曜日に開催します。ただし、水曜日が祝日の場合は翌日となります。